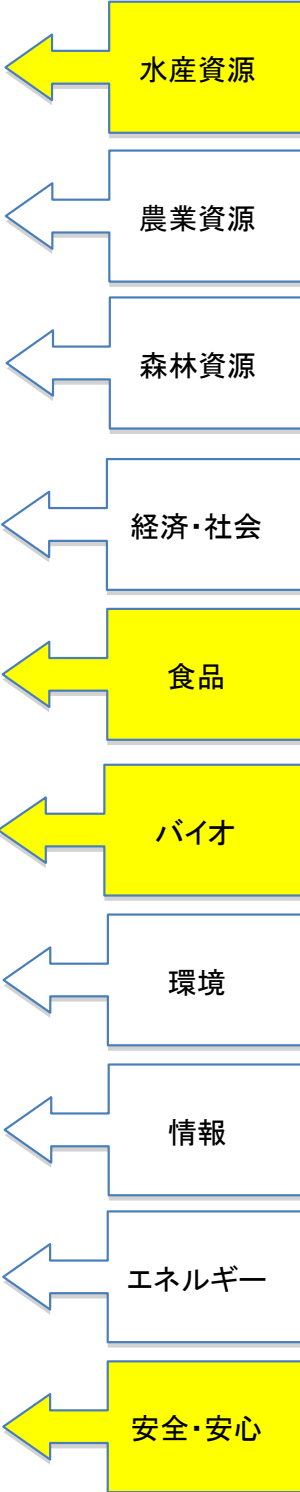


魚類ウイルス病に対するワクチンの開発

三重大学大学院生物資源学研究科・一色 正



概要

- 海産魚類養殖では様々な魚病が発生し、甚大な産業的被害をもたらしています。
- 食の安全・安心および薬剤耐性菌の観点から、魚病は治療よりも予防が重要です。
- 魚病を効果的に予防できる魚類ワクチンを開発しています。

キーワード

魚類, 養殖, 魚病, ワクチン, 免疫, 感染症, ウイルス, 微生物, 水産用医薬品

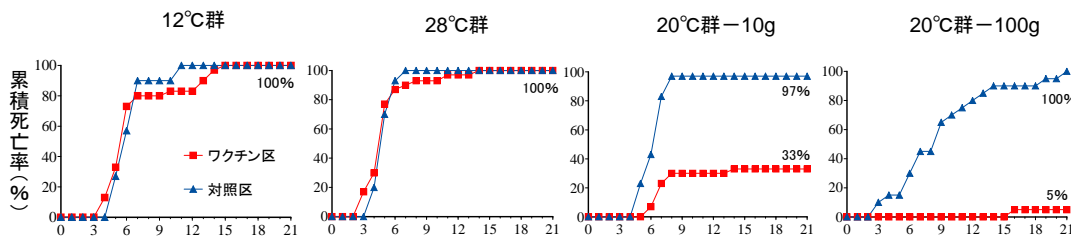
研究内容／実施例

上記のような理由から、食品が前提の養殖魚類に投与しても問題のない安全な品質を有し、かつ魚病に対して予防効果を示すワクチンを研究しています。

例えば、変温動物である魚類の免疫機能が水温の影響を受けることに着目し、不活化ワクチンを投与後に魚類の適水温で飼育することにより、ワクチンの有効性を向上させることに成功しました。



激しい筋肉内出血を示すヒラメ病魚



ワクチンの予防効果。ワクチンを投与後、12、20および28°Cの各水温で飼育したヒラメ群を病原ウイルスに人為感染させ、21日間観察した場合の累積死亡率。